

食の安全サポーター情報配信（平成23年7月19日）

食の安全・安心の推進に御協力いただき、厚くお礼申し上げます。

今回の配信は、放射性セシウムを含む稲わらを餌として与えていた牛の肉の流通についての情報を配信します。

《 目次 》

1 兵庫県から岡山県内に流通していた牛肉について

⇒ 福島県内の農家から出荷された、放射性セシウムを含む稲わらを餌として与えていた可能性のある牛84頭のうち、1頭の和牛の肉（11.8kg）が、県内の食肉販売業者へ販売されていたと兵庫県から連絡があり、調査したところ全量保管されており、流通していないことが判明しました。

なお、当該食肉について、放射性物質の検査を実施したところ、放射性セシウムは検出されませんでした。

詳細については岡山県庁生活衛生課のホームページをご覧ください。

（参考URL） http://www.pref.okayama.jp/soshiki/kakuka.html?sec_sec1=37

2 放射性物質に汚染した稲わらを給与した可能性がある家畜の個体識別番号について

⇒ 全国的に流通している家畜の個体識別番号を厚生労働省が公表しており、岡山県庁生活衛生課のホームページにもリンク掲載をしています。

事業者の方は、当該牛肉を特定した場合には、流通を止めて保管頂くとともに、速やかに管轄保健所まで報告を頂きますようお願いいたします。

当該牛肉を数回食べたとしても健康影響があると考えられませんが、不安に思われる消費者の方は放射性検査の結果が出るまで消費しないようにして下さい。

（参考URL） http://www.pref.okayama.jp/soshiki/detail.html?lif_id=106107

バックナンバーはこちらから

<http://www.pref.okayama.jp/hoken/seiei/foodsafety/hpanzen.htm>